

育ちの芽

みくにひじり幼稚園 副園長 奥村 綾

～1学期を振り返って～

幼稚園では、子どもが主体的に遊べるように、園庭・保育室のさまざまな環境を見直したり、子どものタイミングで取り組めるように、素材の選択肢を増やしたりしながら、日々保育しています。1学期を終え、子どもの育ちや、様子に変化が見られた点など、職員で話し合いをしました。

- ・当番活動等の決められたセリフや言葉ではなく、子ども達が自分で考えて言葉を発したり、自然なあいさつができるようになった。
- ・自由にできる時間が増えたことで、子ども達の視野も広がり、遊びの柔軟性が出てきた。
- ・クラスで子どもが楽しんでいることや、何が盛り上がっているかを把握しやすいので、各担当が、クラスに合った遊びを設定できる。また、子ども達からも遊びを発展させるような意見がたくさん出るようになった。
- ・子ども達が発言する時間が多くなった。トラブルが起きたときも、たくさん意見が飛び交っていたので言い易い環境が作れていると感じた。
- ・制作コーナーを1回設定するだけでなく、数回設定することで、発想が膨らんだり、工夫する点が多く見られるようになった。

以上のように、子どもの育ちについていろいろな意見が出てきました。また、自分からなかなか参加しようとしないう子への声掛けや環境設定等、課題点も多くあり、今後もかかわり方を工夫したり、保育環境の見直しをしていきたいと思えます。

今年度いちにち先生に参加して下さった保護者の皆さん(315名中186名参加)も、子どもの育ちについて気付かれたことを、感想に書かれていましたので、いくつかご紹介します。

《いちにち先生の感想》

◎全体的に子ども達に対して、細かく指示をしたり、説明したりするのではなく、子ども達自身が考えて行動したり提案したりできるようにしているところに子ども達の成長を感じることができました。

◎ケンカが始まりどうなるか少し見守っていると「仲直りしよーや」「わかった」のようなやり取りで、言い合いもしていましたが、解決できていたことにびっくりしました。先生が入ることなく、自分たちで仲直りすることもできるようになったんだなど。新しく導入された方法を見ていて、本当に子ども達が自由に好きな絵を描いていてすごく楽しそうでした。

◎最も印象に残ったのは、さすが年長さん、先生のお話を聞くときは、ちゃんと先生の目を見

て一生懸命理解しようとする姿でした。今年から、うきうきタイムをはじめ、自由選択の時間が増えたと聞いていましたが、それぞれがのびのびと遊んでいる姿が見られてよかったです。

◎うきうきタイムの時間片付けの曲が流れると「片付けの時間やん」と声掛けしている子が何人もいました。そんなしっかりしたところを見て『うきうきタイム＝自由』だけではないことが分かった気がします。

◎先生が「指示する」というより「自分で考えて行動する」というのを尊重しているのが伺えてこれから小学校に向けて、その様な取り組みをしていただいているのかなと思いました。

◎うきうきタイムでは、一人で遊んでいる子、グループで遊んでいる子、静かな子、積極的な子など個性がよく見えました。自由に外遊びを選べるのは、自主性を重んじているのだと思いました。

◎年少組の時よりも一人一人がパワーアップしていて成長のスピードに驚きました。自分の意志を言葉で伝える子どもが増えたなと感じました。

◎うきうきタイムや泥んこ遊びでは、それぞれが自分の好きな場所で、好きなお友達と好きな遊びをしていて、のびのびと楽しそうに過ごしている姿を見ることができました。たくさんのお友達とかかわりが持てるチャンスがあることは、とてもいいことだなあと感じました。

◎一人ずつ前に出て発表するのも、順番を決めずに挙手で自分から言える子ども達がたくさんいました。人前で自分の意見をしっかりと伝えられるということは、大人になってもすごく役立つことですし、良い取り組みだなと思いました。

◎制作でかき氷作りをしましたが、色水が4色各1本ずつしかなく、そこら中で「次～色貸して」という言葉が飛び交う状態でした。横取りする子、仲介する子、ずっと待っている子などがいましたが、それぞれが自分なりに我慢したりすることで一切トラブルが起きることなくでき、こうして子ども達は社会性を養っているんだなと学びました。トラブルが起きないように口を出したりするのではなく、見守ることで子ども自身が自ら学ぶきっかけができることを痛感し、我が子への関わり方を見直す良い機会となりました。

年長組の保護者の皆さんの中には、『自由に遊ぶだけで小学校に行ってから大丈夫?!』とご心配されている方も、いらっしゃるかもしれませんが、先日の、学校評価委員会(ホームページに学校評価委員会議事録を掲載)で、近隣の小学校の校長先生方にお越しいただき、本園の保育内容や遊びの様子を写真で紹介した際『幼稚園のうちから、自主性・主体性の育成に取り組んでいただいていることに感謝します。』『子ども達が主体的に活動することは大切なこと。小学校でも指示待ちの子どもがいますが、そんな子ども達にとっても、みくにひじり幼稚園が進めておられることは、とても大切なことです。』というご意見をいただきました。幼児期に遊びにのめり込み、その子なりの達成感や満足感を味わうことで、次の活動へと気持ちの切り替えができ、再び何かに集中するなど、小学校で生活する力や学習する力がついてきます。

主体性や粘り強さといった、『非認知能力』や『思考力』につながる力が育つよう、今後も職員で話し合いを重ね、保育していきたいと思えます。